

【構造から考える世界の貧困 役割シート『医者』】

あなたは、開発途上国 A に住む内科医です。あなたは、これまで育ててくれた両親に楽をさせたい、また子どもを留学させたいという思いがありますが、所属している公立の病院の給料は、生活をする上で十分とは言えません。そこで現在、夜間は私立病院でも診察をしていますが、これにより、公立の病院での診察を行う時間が減っています。所属する公立病院の院長は政府に補助金の増加を求めています、政府からの返事は否定的です。

あなたは幸運にも英語が話せます。そして欧州の先進国で医者として働けば、今よりも多くの給与を得ることができます。あなたがその気ならば先進国の病院を紹介してくれるという話もあります。

しかし所属する公立病院で内科医はあなた 1 人です。あなたが海外に行くことで、地元の人々は医療へのアクセスを失い、診察を受けるためにさらに遠い病院へと行かなければならなくなります。農民の親は腎臓を患っており、あなたがいなくなると医療へのアクセスを失うことになりかねません。

【実際の声】

「ナースの不足はほんとに深刻です。すごく疲れていても休むわけにはいかない。私は、午後 4 時から翌朝 7 時半まで働いています。16 時間です。小児科にはナース 5 人で、たいてい 200 人から 300 人の子どもをみています。その上、人が足りないときは、日勤もこなします。私たちは一生懸命働いています。しかも低賃金で長時間。やめることはできません。他にどうすればいいというのでしょうか？」

(マラウイ、リロングウェ病院の助産婦)

「私は(マラウイへ)帰りたいのです。しかしそれには収入を補うものがが必要です。マラウイのナースの給与では私自身食べていけませんし、子どもを養うことも出来ないでしょう。帰らない理由は、ただひとつ、それだけです。それで、マラウイに帰ってナースが出来るように、ここでお金を貯めているのです。」

(養成訓練を受けに英国に来ているマラウイ人のナース、メアリー・ンタタ)

『公共の利益のために』より

【関連情報】

- ・1 日で 4,000 人の子どもが浄化されていない水を飲み下痢によって死んでいきます。
- ・1 日に 1,400 人の妊産婦が適切なケアを受けることなく、妊娠中あるいは出産で死んでいきます。
- ・1986 年-95 年の間にガーナ医科大学の卒業生 489 人のうち、61%がガーナを出て他国で就職をしている。そのうち半数以上が英国におり、3 分の 1 は米国にいる。
- ・カナダと米国にいる医師の 4 人に 1 人は外国出身者である。
- ・英国は自国の保健医療サービスに携わる医師の 3 分の 1 を英語圏のアフリカからリクルートしている。
- ・世界全体で保健医療従事者は 425 万人不足している。

(『公共の利益のために』より)

【構造から考える世界の貧困 役割シート『農民』】



あなたは現在途上国 A に住む農民で、母親、息子そして娘の 4 人暮らしです。妻は、娘を産んだときに他界しています。A 国では保健医療制度がしっかりと整っていないので、出産の際に亡くなる女性が依然として多いのです。一家は農業によって収入を得ていますが、収入はごくわずかです。農業以外の仕事はしたことがありません。

さらに近年、種まきの時期に洪水が起きたり、日照りが続き、作物の収穫量が減少する見込みです。

今年 10 歳になる息子は、午前は学校に通い、午後は農作業の手伝いをしています。もしこれ以上収入が減ったり、支出が増えたりすれば、息子には一日中農業の手伝いをしてもらわなければなりません。そうなった場合、息子は将来都会に出て職を得ることはできず、自分と同じ生活を送ることになるでしょう。

【実際の声】

「コーヒーの価格が下落し、娘を小学校に通わせることが困難になってしまいました。大企業に言いたいのは、コーヒーの価格をもっとフェア に設定して欲しいということです。私たちは、服や薬などの生活必需品さえ買えないこともあります。子どもたちにおもちゃを買ってあげることももちろんできません。米と、豆、卵、とうもろこしを食べることで精一杯です。できれば、肉や牛乳、バターなどを 1 週間に 1 回家族に食べさせてあげたい。」

(ホンジュラスのマリアさん)

オックスファム・ジャパン <http://oxfam.jp/poverty/cat60/> ウェブサイトより

「学校へ行くには3つも川を越えなければなりません。雨季には 4 フィート(約 1.2 メートル)の深さになり、雨が降ると、お母さんはとても心配します。」

(フィリピン、キマラヤグの小学生)

『公共の利益のために』より

【関連情報】

・1 日に 1400 人の妊産婦が適切なケアを受けることなく、妊娠中あるいは出産で死んでいきます。

(『公共の利益のために』より)

・5,700 万人の子どもたちが学校に行っていません。(2011 年)

・不就学児童の 54% が女子である。サハラ以南アフリカでは 900 万人近くの女子が一度も学校に行っておらず、今後も行かないと推定される。

(『EFA グローバルモニタリングレポート 2014』UNESCO)

あなたは途上国 A の政府に勤めていて、この地域の保健医療及び教育分野を担当しています。主な仕事は予算配分の決定です。しかしながら途上国政府 A はインフラ建設にお金を使っているため財政が厳しく、また冷戦時代の独裁政権が西側諸国から借りたお金への債務などもあり、十分な資金を保健医療や教育分野に充てられないのが現実です。また、教育や保健医療のために先進国から援助を受けたとしても、多くはその援助国側のモノやサービスの購入が条件となっていたりして、A 国の業者を使うこともままなりません。同僚の中には援助で到着した物品や政府が購入した物を盗み出し、売っているものも出てきています。事態改善のためには何よりも医師や教師を増員することが必要です。しかし、給与を支払えないことが課題になっているにもかかわらず、そこに使える援助資金は、全体のわずか 8% です。

また金融危機の影響で先進国政府からの援助そのものも減少が予想され、その結果、自分の給料が減るかもしれないと不安を感じています。しかし、あなたは保健医療や教育のサービスを拡充させたいという気持ちもあります。せめて先進国が約束した政府開発援助 (ODA) の額を安定的に出してくれれば、もう少し病院や学校に補助金を出せるかもしれません。

【実際の声】

「腐敗や不正行為は珍しくありません。職権乱用により、医薬品が盗み出され、医療器具は政府の保健センターから持ち出されて、私立の診療所に流されています。必要なチェックや管理がきちんと行われるようにするための人員もありません。わが国の保健医療制度はおそろしくお粗末なのです。」

(アフリカのある国の保健医療技術顧問)

『申し訳ありませんが、うちにも優秀な技術者がいるんです。彼を使うために月 100 ドル賃上げしなければなりません』なんていってごらんない。『とんでもないそんなことはできない。』って答えが返ってきますよ。彼らは外国から一日当たり 1000 ドルの技術者を連れてきているのに。」

(マラウイの保健医療省のある上級技術顧問)

『公共の利益のために』より

【関連情報】

[アフリカに対する支援]

2005 年にグレンイーグルスで開催された G8 サミット(先進 8 カ国首脳会議)では、2004 年の政府開発援助 (ODA) 額に加えて、2010 年までに ODA を年間総額で 250 億ドル増額することが合意された。しかし約束額と支援額との間には 174 億ドルものギャップが存在する。(国連広報局「Fact Sheet Where Are The Gaps? 」2009 年 9 月より)

・世界的な金融危機により、貧困国の国家財政は逼迫している。サハラ以南アフリカの国々は 2009 年と 2010 年に教育のための財源を 1 年当たり 46 億ドル失う恐れがある。これは、初等教育の児童一人当たりの支出が 10%も減少する事を意味する。(『EFA グローバルモニタリングレポート 2010』UNESCO)

あなたは途上国 A のある地域の公立学校で教師をしています。工夫をこらした授業をして、地域に貢献したいと思っ
ているのですが、卒業せずに辞めていってしまう子どもが後を絶たずに悩んでいます。その理由の大半は家庭の経済的な困窮で
す。また、教師としての自分の給料も、生活をする上で十分ではありません。

また村によっては、学校がなく、わざわざ遠くにあるこの学校まで通っている生徒も多くいますし、政府財政が厳しいことか
ら教員の数が十分ではなく、一人の教師が一度に多くの生徒を教えなければならない状況です。

既に数名の同僚はより多くの収入を求めて、職場を去っています。せめて政府からの補助金が増えれば、この学校から去
る教員の数も少なくなるでしょう。

【実際の声】

「1970 年代に教職に就いた頃には、1 クラスあたりの児童数は 45 人でした。今は 180 人、200 人に上ることもあるわ。授業
はまるで集会で、私も教えているというよりも講演しているみたいなの。」

(タンザニアのシンヤンガにある、ウフル小学校のムワブガ先生)

「電気代 300 コルドバ(18ドル)、水道代 250 コルドバ(14.5ドル) 電話代 300 コルドバ、これだけでももう給料の半分を占めて
います。残りで米と豆を買おうと、ほんの少しの肉や何かを買いたいと思っても一銭も残りません。」

(ニカラグアの本セ・マドリス校の校長)

(貧しいながらも教師を続ける人の声)

「学校は足りないものばかりです。見てください _____ 教科書も、椅子も、ベンチもありません。けれど私は今の仕事に満足
しています。賃金のために働いているわけではありません。この仕事が好きだから、子ども達が好きだから、です。息のある限
り、教える事を続けます。」(リベリア、キングスヴィル公立小学校、76 歳の教員、マザー・ビオラ・ショー＝ルイス)

『公共の利益のために』より

「私は少女に教育を受けさせることは国全体にとってプラスになるのだと親たちに教え
ています。私は、少女たちが自分で考えて行動できるようになってほしい のです。
生徒たちは、私に勇気付けられたと言います。私にもこの村を出て、大学で勉強し、
先生になることができたのですから、彼女たちにもできるのです。」

(インドの教師のアフサナ)

オックスファム・ジャパン <https://oxfam.jp/whatyoucan/campaign/> ウェブサイトより

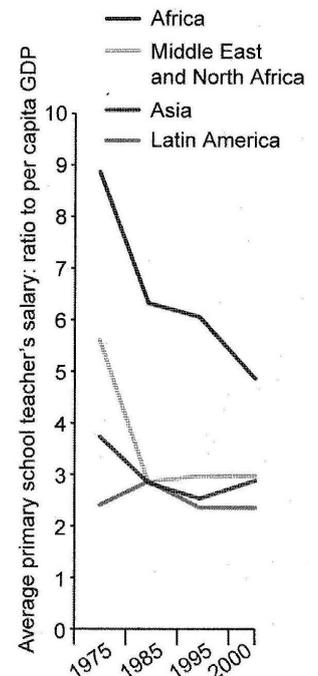
【関連情報】

- ・世界全体で教員は 160 万人不足している。
 - ・5,700 万人の子どもたちが学校に行っていない。(2011 年)
 - ・不就学児童の 54% が女子である。サハラ以南アフリカでは 900 万人近くの女子が一度も学校に行っておらず、今後も行かないと推定される。
- (『EFA グローバルモニタリングレポート 2014』UNESCO)
- ・金融危機の影響により、10 カ国において給与が減額し、小学校教師と医療従事者が貧困に直面する危険性が増している。

(Social And Economic Working Brief “Protecting Salaries Of Frontline Teachers

And Health Workers” UNICEF Policy And Practice 2010 年 4 月)

図4: 減り続ける給与



(出典: UNESCO, Educa-
tion for All Global Moni-
toring Report 2005)

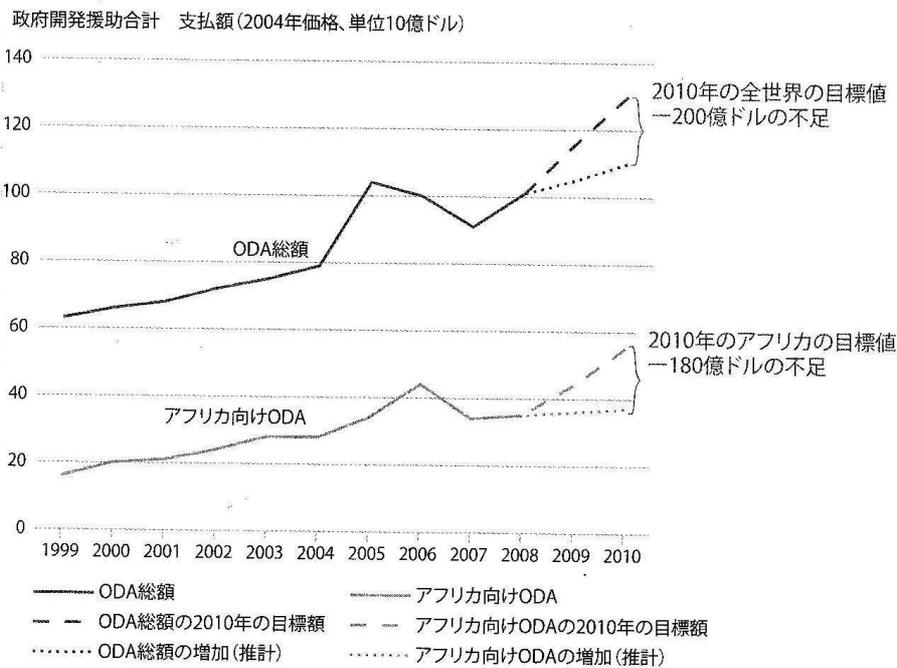
(『公共の利益のために』より)

あなたは先進国 B の政府に勤務しており、政府開発援助 (ODA) の配分を担当しています。途上国 A の保健医療及び教育分野での ODA を担当していました。しかし、世界的な金融危機の影響もあり、ただでさえ、減額が続いていた ODA の予算が、さらに減ってしまう見通しが出てきました。

あなたの周りには、ODA の減額を主張する政治家がいる一方で、B 国企業が途上国で行う橋やダムなどの大型事業に ODA を充てるよう圧力をかけてくる政治家もいます。B 国では、援助に関わる不正や汚職についての報道もあり、世論の ODA に対する支持も低く、ODA の増額はおろか、現状維持も難しい状況です。こうした中、政府内では、ODA は国益に資するものでなければならないという見方が支配的になり、B 国の建設業者を使って建物を建設し、国旗を立てることが目的となり、途上国の教員や医療従事者の給与を支援し、教育や医療保健の拡充に向けた取り組みは難しくなっています。一方で、途上国 A の政府からは、金融危機の影響で貧困が悪化しており、ODA を増やしてほしいという要請が届いています。

【関連情報】

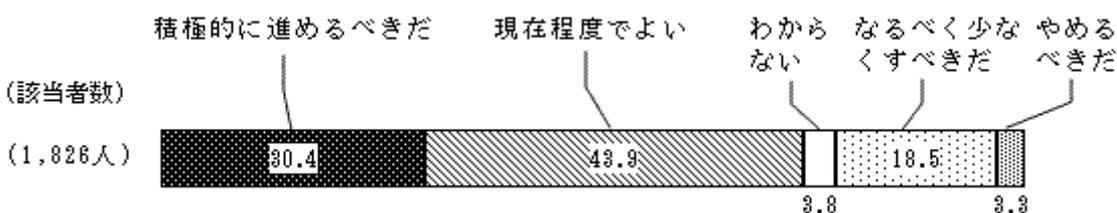
図 10：援助総額の不足はアフリカで最も深刻になると予測される



出典：『EFA グローバルモニタリングレポート 2010』の図 4.1 を参照。

(『EFA グローバルモニタリングレポート-概要-より』)

・下図、日本の今後の経済協力に関する世論調査



(『外交に関する世論調査』 内閣府大臣官房政府広報室 平成 20 年より)